

学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。
なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

【全国学力・学習状況調査結果の概要】

成果

令和3年度実施の全国学力・学習状況調査（以下「全国学調」）の国語では、目的や意図に応じて資料を使って話すことについて、算数では複数の図形を組み合わせた平行四辺形の図形を構成する要素などに着目して面積の求め方を考えることについて、全国平均を上回る正答率でした。その他にも、思考力・判断力を求められる設問の多くで、全国平均を上回る正答率でした。本校では、授業の導入で児童の学ぶ意欲を高める工夫をし、友達の考えに関連付けて伝え合うことで考えを広げたり深めたりする授業づくりを進めています。それらの取組を通して培った力が結果に表れてきたものと思われれます。

質問紙調査の結果からも、「学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか」という質問に対し、「伝えていた」「どちらかといえば、伝えていた」と回答した児童は94%と、肯定的な回答が多いことが分かりました。これも、授業づくりの取組の成果だと考えられます。

課題と対応

算数では条件に合う時刻を求めることにおいて正答率が低く、課題がみられました。そこで、各教科で学習した内容を定期的に振り返る場を意図的に設定したいと考えています。日々の授業の中で、これまでの学習内容を活用できるように授業を計画するとともに、家庭学習を利用し、学習内容の定着を図っていきたくと考えます。

質問紙調査の結果からは、「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータ、携帯、スマートフォンを含む）をしますか」という質問に対し、「3時間以上」と回答した児童が22.3パーセントと、5年生の時の調査より約8ポイント多いことが分かりました。「ぱちモグ」のメディアの項目を継続し、運動や読書・家族との触れ合いの時間など、ゲーム以外の時間を過ごす良さを感じられるような取組をしたいと考えております。また、家庭学習に取り組む時間の目安を提示した手引きを配付し、家庭学習の充実につながる取組を進めていきます。

【保護者・学区の方へのお願い】

全国学調の結果から、友達と協力したり考えを伝え合ったりする活動は楽しいと感じており、前向きに学習に取り組んでいる児童が多いことが分かります。また、「自分にはよいところがありますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問に対して、肯定的な回答が全国平均を上回っていることが分かりました。家庭や地域において自分の居場所があり、安心して生活できているからだと考えられます。一方、ゲームの時間が年々長くなる傾向が見られます。より良い生活習慣を身に付けることは、児童の更なる成長や自立につながると考えています。児童の生活習慣確立のための活動を学校と家庭とで連携して進められるように、一層のご協力をお願いいたします。

令和3年度学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

成果

	教科・質問紙	成果
第4学年	国語	文の構成（主語と述語）について理解している。
	社会	地域の安全は地域の人々の協力によって守られていることを理解している。
	算数	三角形・円と球などの図形の性質について正しく理解している。
	理科	明かりがつく導線のつなぎ方を理解し、目的に合わせた回路を組むことができる。
	学習状況	授業で学習した内容をよりくわしく調べてみたいと思う児童が多い。
第5学年	国語	文の構成（主語と述語）について理解している。
	社会	浄水場で働く人々の仕事について理解している。
	算数	変化のきまりについて、表を活用して数を求めることができる。
	理科	金属のあたたまり方について理解している。
	学習状況	学校の授業時間以外にふだん読書をする児童が多い。

課題とその対応

	教科・質問紙	課題	対応
第4学年	国語	ローマ字のつづり方や慣用句の意味に課題がある。	<p>国語においては、ローマ字のつづり方や慣用句の意味を理解すること、社会では資料から読み取った情報を生かすこと、算数では数量の関係に着目して倍関係を理解すること、理科では器具についての知識に課題がある。</p> <p>今後の授業を通しての改善策としては、各教科で学習した知識や技能を必要感をもって活用できるような場面を意図的に設定していきたい。また、文章や地図・写真などの資料から必要な情報を読み取り、それをもとに言葉で表現する活動を取り入れていきたい。</p> <p>学習状況については、ゲーム等に接する時間が長いことに課題があるが、年3回実施しているばちモグ週間のメディアの取組を継続し、子ども自身が「やってよかった」「効果があった」と実感できる振り返りをしたい。</p>
	社会	岡山市の様子の変り変わりについて資料から情報を読み取り、あてはまる言葉を書くことに課題がある。	
	算数	数量の倍関係を理解することに課題がある。	
	理科	虫めがねや方位磁針などの器具の正しい使い方の理解に課題がある。	
	学習状況	普段、1日あたりゲームやインターネットをする時間が長い状況が見られる。	
第5学年	国語	漢字の間違いや、文の終わりの書き方に気を付けて、指定された字数制限内にまとめて書くことに課題がある。	<p>国語においては、漢字を正しく読み書きして文章にまとめること、社会では都道府県の位置関係や岡山県の地形の名称を理解すること、算数では基準量をもとにしてもう一方の数量が何倍になるかを考えて計算すること、理科は動物の体を動かす仕組みを説明することに課題がある。</p> <p>改善策としては、特定の教科に限らず、資料や図表から読み取ったことや学習した知識・技能を活用して、示された条件に合わせて言葉で表現できる場を授業の中でバランスよく取り入れたい。また、算数では図や式などを用いて二つの数量の関係の比べ方を考察する力を伸ばしていきたい。</p> <p>学習状況については、家庭学習に取り組む時間の目安を提示した手引きを配付し、子どもの意欲が継続するような取組を進めていきたい。</p>
	社会	岡山県の川や平野・海の位置と名称を理解することに課題がある。	
	算数	何倍になるかを考えて計算することに課題がある。	
	理科	動物は体を動かす仕組みについて、決められた言葉を使って説明することに課題がある。	
	学習状況	学校の授業時間以外に、家庭学習の時間が短い傾向が見られる。	

【保護者・学区の方へのお願い】

質問紙調査の結果から、家で自分で計画を立てて勉強している児童の割合が減っていることや、1日あたりの家庭学習時間が短い傾向にありました。その日の学校で学習したことについて、自主学習に取り組んだり、自分で計画を立てて勉強したりする習慣が身に付くような取組を継続していきます。保護者の皆様と連携して、より一層家庭学習の充実に向けて取り組んでいきたいと思ひます。